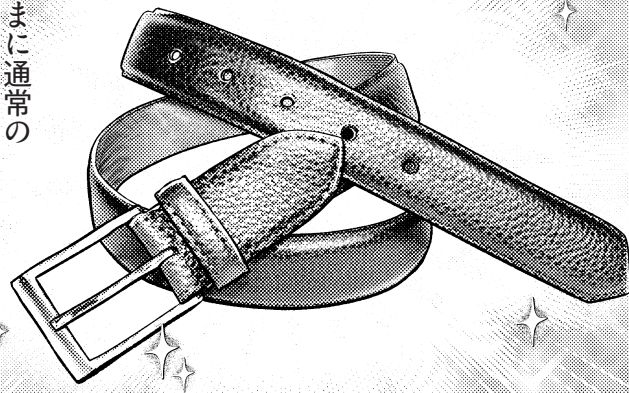


このリラックスレザーベルトを使っていると、快適さが当たり前になってしまつて…



たまに通常の
本革ベルトを締めた時に
比較して改めて
ビックリするんです

長澤さんの
リラックスレザーベルトは
付け心地が断然違います！

(使用者モニターより)

ベルトは縁の下の力持ち。
控えめですが
大役を担っています

長沢ベルト工業は
葛飾の地で長年一貫して
高級ベルトを手掛けてきました。
職人精神に溢れる私達が
開発に成功した世界初の製品！

フォーマル・ビジネスシーンで
活躍する、伸縮可能な本革ベルト
「寛ぎリラックスレザーベルト」を
ご紹介します！

ながさわたけおみ

長澤猛臣社長

～本革伸縮ベルトと町工場パワーの秘訣は「3層構造」にあり～

「寛ぎリラックスレザーベルト」

有限会社長沢ベルト工業

作：風来

スーツ姿でフォーマルなお食事の場や
立ち座り時で、ベルトを少し緩めたく
なる時って…ありますよね？

寛ぎリラックス
レザーベルトは
腹部キープ力を
保ちながら
そのままベルト穴
2個分(注)まで
ベルト自体が伸びて
圧迫感を軽減します

(注)ベルト帯全体で約4cm伸縮可能

リラックスレザーベルト
実現の秘訣は

「三層ストレッチ構造」
です！

そこにたどり
着くまで
色々
ありました…

長沢ベルト工業は葛飾区堀切でベルト製造工場として
猛臣社長の父、長澤潤治氏が昭和42年に創業し、
妥協のない頑固な職人気質による高い品質と信頼で
高級紳士ベルトのOEM（注）生産を行ってきた



工場は継ぐつもりでしたが
まずは外の世界も
知らないといけないな
と思いました

若き猛臣氏は
アパレル業界で
5年間生産管理
部門で働いたのち

イタリアのカバン
工場で革職人
として修行する



長澤潤治会長

（注）相手企業ブランド製品の製造

革加工の長い歴史に基づいた
イタリア革職人達の、自分の
信じる世界観を技術で表現する
姿を直に学ぶこと
が出来ました！



広い世界を色々見たかった私を
理解してくれた親に感謝しています

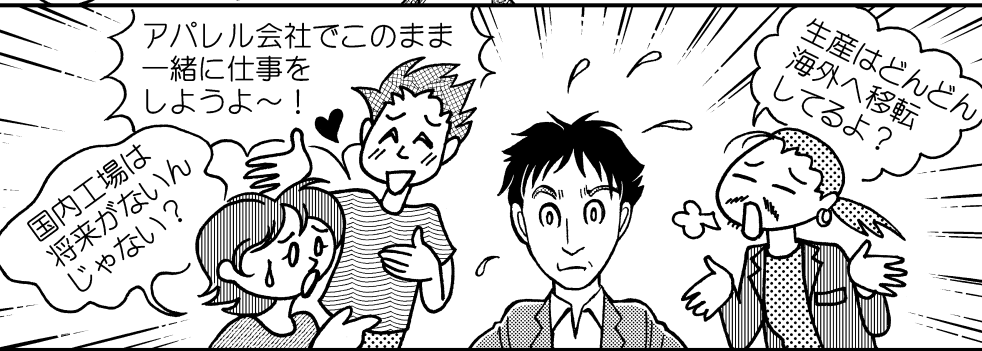
若かった
な...

帰国し30歳を過ぎた頃
そろそろ家業に戻ろう
と考えた猛臣氏だった
が、アパレル業界の
仲間達に猛反対を
受けてしまった！

生産はどんどん
海外へ移転
してるよ？

アパレル会社でこのまま
一緒に仕事を
しようよ～！

国内工場は
将来がない？



町工場でも、工夫次第で
絶対にチャンスはあるはずだ！！

みんなと逆行した方が
ライバルは少ない！

父親譲りの頑固さと
職人的アマノジャクで
かえって火が付いた
猛臣氏だった



家業を継ぎOEM生産をこなしていく中
町工場の新たな試みとして猛臣氏は自社
新製品のアイデアを密かに練っていた

昨今の
衣料界では
機能性素材が
主流となり
ストレッチ性が
多くの製品に
採用されている...



今ある伸びるベルトは
カジュアルなものばかりだ...
本革高級紳士ベルトにも
伸縮性をもたせられない
だろうか？



そこでベルトの構造自体に注目しオール本革を使用してベルト帯自体が伸縮する「3層ストレッチ構造」^(注)を独自で研究開発する

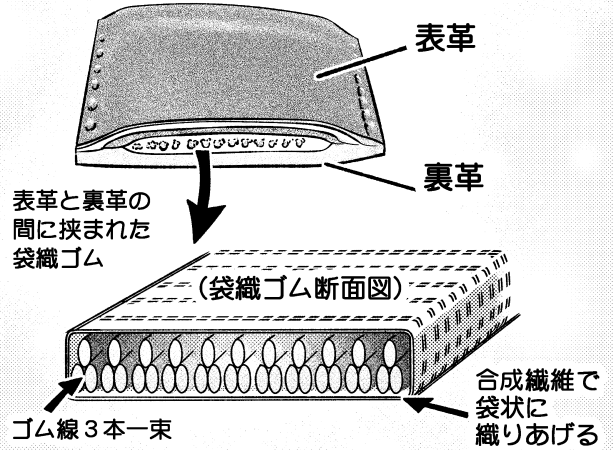
あくまでベルトは革が主役です

芯材に耐久性のある「袋織ゴム」という伸びた後にしっかりと元に戻る性質の特注国産素材を採用し表裏は妥協しない本革仕様としました

表革は伝統的な表情のあるしなやかな革仕様としましたが

ベルトの出来栄を左右する裏革は三層ストレッチ構造に適したものが国内で見つからず、
※軽し業者に依頼しても断わられたりで…

3層ストレッチ構造 (ベルト帯断面図)



(注「3層ストレッチ構造」は令和2年に実用新案登録済)

しつかり感と柔軟性の両極端の質感を軽しで出すなんてう

条件が、難しすぎますよ！

諦めかけていた時たまたま偶然出会いました！

※軽し(なめし)動物の皮を薬剤等で処理して安定した素材革に変化させる技法。タンニン軽し、クロム軽し、コンビ軽しなど、軽しによって質感が変化する。

OEM製品バッグの持ち手用素材として扱ったあるイタリア産の革^(注)が…

柔らかいのに厚みがあつて、しなやかだ

これなら三層ストレッチ構造の裏革でいける！

本来紳士ベルトの裏革素材はしつかり堅牢な革を充てるのが伝統的だったが、この新素材発見は既成概念にとらわれず広い視野を持った猛臣氏の逆転の発想だった！

社内職人達の協力と工夫に試作を重ね3年の月日をかけて、帯全体でベルト穴2個分(4センチメートル)伸縮可能なレザーベルトが誕生した！

注：CHIORINO Technology社製牛革

下町工場の技術で実現！伸縮可能なフォーマル・ビジネス向け本革ベルト

『寛ぎリラックスレザーベルト』

(2019年秋一般発売)

完璧なステッチと
表の美しい彫らみ

こだわりの国産
真鍮バックル

経年変化が
楽しめる上質な革

新技術による伸縮性に併せて
わが社伝統の高級革ベルト
製造ノウハウもギュッと
詰まっています

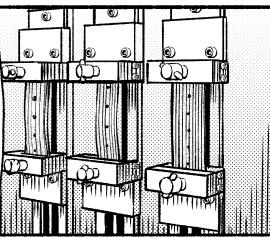
隠しフリーサイズ仕様による高級感
帯を切って調整可能、且つ
止め金具が共革で隠れる工夫

※ベルト帯全体で4cm伸縮可能！

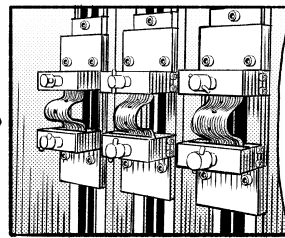
(最新製品は8cm伸縮可能の製品もあります)

「低速疲労実験」「耐屈性試験」などで検証済

自社製品には永年
保証も対応します



ベルト帯を5000回屈曲実験後、表裏とも亀裂は見られず試験前とほぼ変化なし。



本革仕様の
美しさと
使用時の快適さを
共に保ちながら、
末永くご愛用頂けます

耐久性も
検証済みです

革は
生き物の一部
なので、すべてを無駄なく
使ってあげたいです

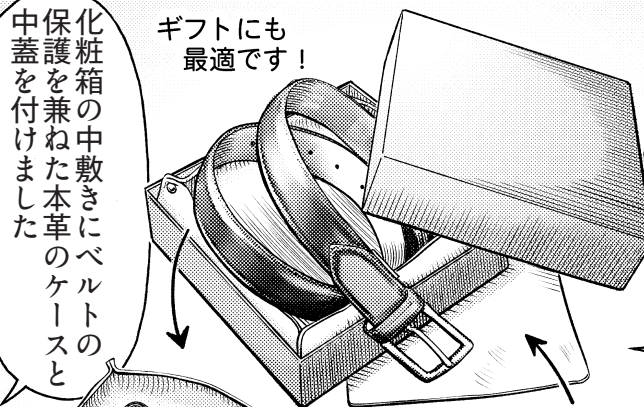
※
ベルト用に素材の革を裁断した後
余った部分を使い、このような
革小物や雑貨も
作り始めて
います

紳士用ポーチ

色鮮やかな
イタリアレザ
ーの
名刺入れ

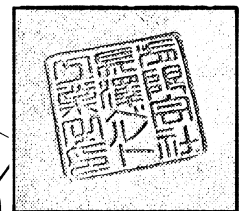
※国産素材の革の場合、革一枚面積の約50%が
端切れとなる

ギフトにも
最適です！



ユーザーにお届けする
発送時のパッケージにも
こだわっています

中蓋には会社の刻印入



中敷きと中蓋は、
高級革製小物入れと
マウスパッドとして
お使いいただけます

ベルト収納用フックは
本革製靴ペラになる

ベルトを一貫して
自社内で全て作って
いる町工場は、
国内では本当に
少ないんです。

ベルト職人達の
製作現場を
ご覧下さい

革の裁断

素材の革の状態を細かく
チェックしながら大裁ちした後
スリッター機で帯状にカット

コバ漉き

带状になった革の両端を
一枚一枚漉いて削って
薄くする

注・工程は分かり易く省略した内容となっています

接着剤を塗る

粘着力のある
板台に手作業で
隙間なく並べ、
刷毛を使って
ムラなく一気に
溶剤を塗っています

革の種類や用途に
合わせた溶剤の選択
も長年蓄積された
ノウハウの一つです

貼り合わせ

表革・芯材・裏革を
丁寧に貼り合わせした後
プレス機で圧着する

女性職人の宮崎志津子氏は
入社8年目のベテラン

コバの面取り 仕上げ

コバはベルトの美しさを
左右する部分です。布で
磨くというよりも爪で
押し磨くイメージかな

コバを布海苔で磨いた
のち塗料でコバ塗り

小島信三 工場長

縫い加工

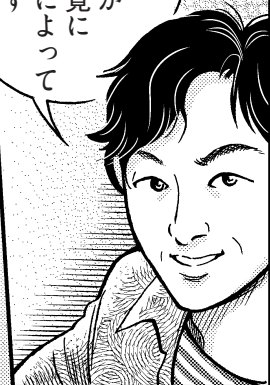
ミシン調整に気を払い
ベルトのステッチを美しく
縫いあげる

「潤治会長の作るベルトの
雰囲気が好き」という職人
押尾泰廣氏

バックル付け・穴あけ・検品して完成！

※コバは皮革製品の端・カットした断面部のこと

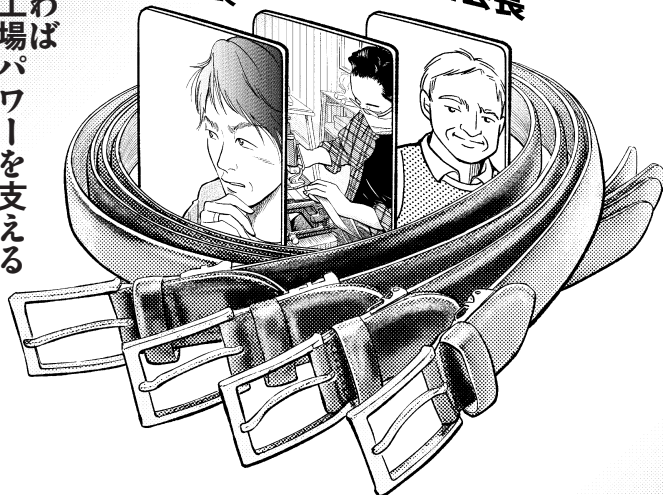
このように
ほとんどの工程が
職人の手指の感覚に
頼る熟練の技術によって
支えられています



長沢ベルト工業の魅力の秘訣は
「手堅く伝統的な会長の技術」
「柔らかく新しい発想の猛臣社長」
その間を高い技術でしっかり支える
「職人チーム」の3つの柱から成る……

職人チーム 潤治会長 猛臣社長

いわば
町工場パワーを支える
「三層構造」ともいえる。



長沢ベルト工業は
メイドインジャパンの
名に恥じない丹念な
仕事により機能美と
美しい仕上がりを実
現します

GENUINE LEATHER
MADE IN JAPAN

長沢ベルト工業製作のベルト
裏側に印刷されているロゴ

葛飾生まれの私は地元
葛飾区堀切の地より
町工場の魅力を
多くの方々へ発信し
伝えていきたいと思
っています

工場の核となる
ベルト製造という
軸は崩さず大切に
守りながら……

新製品開発に
チャレンジして
私達が新たに
作り上げた

「寛ぎリラックスレザーベルト」
をぜひ体験してみてください！